

【無料PDF】現場で必須の介護専門用語50選 一覧シート

こんにちは！このシートは、新人・外国人介護士さんが現場でよく使う、本当に重要な専門用語50個をまとめたものです。印刷してポケットに入れたり、デスクの前に貼ったりして、日々の学習にお役立てください。

1.【超基本】身体介助の言葉

用語(よみがな)	意味
移乗(いじょう)	ベッドから車椅子などへ乗り移ること。
更衣(こうい)	衣服を着替えること。
口腔ケア(こうくうけあ)	歯磨きやうがいなどで口の中を清潔にすること。
整容(せいよう)	身だしなみを整えること(洗顔、髪をとかす等)。
排泄(はいせつ)	尿や便を体外に出すこと。
入浴(にゅうよく)	お風呂に入ること。
体位交換(たいいこうかん)	寝ている人の体の向きを変えること。褥瘡予防が目的。
離床(りしょう)	ベッドから起き上がって離れること。
臥床(がしょう)	ベッドに横になること。
食事介助(しょくじかいじょ)	食事を摂るのを手伝うこと。
水分補給(すいぶんほきゅう)	水やお茶などを飲んでもらうこと。脱水予防。
自立(じりつ)	介助なしで、ご自身の力でできること。
見守り(みまもり)	危険がないかそばで静かに見ていること。
一部介助(いちぶかいじょ)	部分的に手伝いが必要な状態。

全介助(ぜんかいじょ)	すべての動作に手伝いが必要な状態。
-------------	-------------------

2.【観察のキホン】利用者の状態を表す言葉

用語(よみがな)	意味
患側(かんそく)	病気や麻痺がある側。
健側(けんそく)	健康な、麻痺がない側。
麻痺(まひ)	体の一部が動かなくなること。
拘縮(こうしゆく)	関節が固まって動きにくくなること。
嚥下(えんげ)	食べ物や飲み物を飲み込むこと。
誤嚥(ごえん)	食べ物などが誤って気管に入ること。
BPSD (ビーピーえすでいー)	認知症の行動・心理症状(徘徊、暴力、不安など)。
見当識障害(けんとうしきしょうがい)	時間、場所、人がわからなくなること。
バイタルサイン(ばいたるさいん)	生命兆候(体温、脈拍、血圧、呼吸)。
傾眠(けいみん)	声をかけると起きるが、放っておくと眠ってしまう状態。
不穏(ふおん)	落ち着きがなく、興奮している状態。
褥瘡(じょくそう)	床ずれのこと。
浮腫(ふしゅ)	むくみのこと。
便秘(べんぴ)	便が数日間出ない状態。
脱水(だっすい)	体内の水分が不足している状態。

3.【連携のキホン】記録・申し送りで使う言葉

用語(よみがな)	意味
申し送り(もうしおくり)	勤務交代時に、情報を引き継ぐこと。
ケアプラン(けあぷらん)	介護の計画書。
アセスメント(あせすめんと)	利用者の情報を収集し、課題を分析すること。
モニタリング(もにたりんぐ)	ケアプランの効果や変化を観察・記録すること。
インシデント(いんしでんと)	事故につながりかねない、好ましくない出来事。
ヒヤリハット(ひやりはっと)	事故にはならなかったが、ヒヤリとした、ハッと した出来事。
カンファレンス(かんふあれんす)	ケアについて話し合う会議。
多職種連携(たしよくしゅれんけい)	医師、看護師、リハビリ職など、様々な専門職 が協力すること。
ADL(えーでいーえる)	日常生活動作(食事、入浴、更衣など)。
QOL(きゅーおーえる)	生活の質、人生の質。

4.【重要原則】日本の介護の考え方を表す言葉

用語(よみがな)	意味
ボディメカニクス(ぼでいめかにくす)	身体の動きの仕組み。最小限の力で介助する技術。
脱健着患(だっけんちゃっかん)	脱ぐときは健側から、着るときは患側からという更衣の原則。
自立支援(じりつしえん)	利用者ができることは自身で行えるよう支援すること。
尊厳の保持(そんげんのほじ)	一人の人間として、その人らしさを尊重すること。
ノーマライゼーション(のーまらいぜーしょん)	障がいがあっても、誰もが当たり前に暮らせる社会を目指す理念。

5.【応用編】現場特有の表現

用語(よみがな)	意味
適宜(てきぎ)	その場の状況に合わせて、適切に行うこと。
様子見(ようすみ)	すぐに判断せず、しばらく状態の変化を見ること。
傾聴(けいちよう)	相手の話に深く耳を傾け、理解しようと努めること。
受容(じゅよう)	相手の言動や感情を、否定せずありのまま受け止めること。
共感(きようかん)	相手の気持ちに寄り添い、同じように感じようとする事。

制作者:やなぎ(介護とITで現場をラクにする人)